

東弁創立150周年に向けて

副会長 山本 昌平 (50期)

主な担当業務：司法改革、司法修習、法曹養成、法廷、非弁提携、広報、法教育、弁護士研修、新進会員、若手支援、活動領域、業務改革、夏期合研、中小企業センター、日弁連法務研究財団、むつみ会等



1 理事者としての1年間の任期は、10月に折り返してあと5ヶ月となった。

本稿では、松田執行部が掲げるグランドデザイン構想についての進捗状況をご説明させていただく。

まず、グランドデザイン構想とは、将来、特にあと7年後に迫った東弁創立150周年に向けて、会員にとって、市民にとって、職員にとって、魅力ある頼りがいのある弁護士会にするために、本年度に立ち上げられた構想である。

具体的には、会長の下に、グランドデザイン構築プロジェクトチームを設置し、「グランドデザインPTは、会長の諮問に基づき、弁護士業務の深耕と開発、弁護士業務基盤強化、人権活動の推進、本会の財務規律維持、広報などを含むあらゆる分野において、IT技術の効率的活用を中心とした本会の将来に向けてのグランドデザイン構想を検討し、その結果を会長に意見具申することを目的とする。」(グランドデザイン構築プロジェクトチーム設置要綱2条)ものである。

そして、その職務は、「(1)次号から第8号までを含め、あらゆる分野におけるIT技術の効率的な活用構想、(2)弁護士業務を深耕・開発する構想、(3)弁護士業務の基盤を強化する構想、(4)新しい人権の研究も含む人権活動の構想、(5)新財源も含む財務規律維持の構想、(6)海外向けも含む広報の構想、(7)その他、理事者会が決定する事項」等(同要綱3条)の各論点を検討することである。

2 以下、国際チームとITチームの活動状況について説明する。

まず、国際チームにおいては、国際委員会と連携

して大使館・在日外国商工会議所や海外の弁護士会・弁護士との協働を精力的に検討・実施している。また、関連する同好会を立ち上げたり、さらに法律研究部の立ち上げも検討しているところであり、今後の活動が大いに期待できる。

次に、ITチームの現状と今後の活動について説明する。ITチームは、まず、会員の便宜や職員の負担軽減につなげるために、関連委員会の提案を踏まえるなどして、育休や公務就任による会費減免申請について、これまでの紙ベースの申請に加え、メールベースでもできるように変更した。小さな一歩ではあるが、まず、できることから着手していこうという方針である。また、安否確認のために会員にとって身近なLINEをインターフェースとして利用し、会員だけでなく、職員にとって、簡単、かつ、スピーディーに活用できるよう、トライアルを実施した。今後、本格的な導入を検討する予定である。また、OAの大改修の時期を見据え、今後、東弁デジタル基本化計画を策定して、汎用性アプリケーションソフトを活用するなどして、6億円とも8億円ともいわれるOA刷新のための費用についての検証・大幅な見直しを含め検討していく予定である。

3 最後に

東弁創立150周年を迎える2030年には、東弁会員は1万人に達しているものと思われる。2030年の会員、特に新入会員にとって、市民にとって、職員にとって、入会したい、相談したい、働きたいと言われる弁護士会となるため、現在できることに全力で取り組んでいく所存である。皆様の御理解と御協力を頂きますと幸いです。